

* 2月のプログラム(続き) *

おひさまキッズ

「おひさまキッズ」は24年度入園
予定の2~3歳児のお子さん&ママ
対象の親子サークルです。

2月の活動日は…

1日(水)、8日(水)、22日(水)

来年度おひさまキッズお考えの方、
見学お待ちしています!!

☆活動日：第2・4水曜日 10:30~12:00

☆活動場所：元気村2階・青少年センター

(※日程・場所は変更することもあります。)

ご興味ある方は、センタースタッフまでお問合せください。

入園・入学おめでとう!の会

4月に入園・入学を迎えるお子さんたち、ご家族の皆さん、
そして送る側の皆さんと一緒に祝いしよう!の会です。
歌やゲーム、おはなしなど楽しい時間を過ごしましょう♪

♪日時 3月10日(土) 10:30~11:45

♪場所 元気村1階 多目的ホール



対象となるお子さんには、メダルの授与があります。ご希望の方は前日までに窓口または電話でお申し込みください。

☆クリスマス会報告☆

12/17(土)、センターで恒例のクリスマス会が行われました。

当日は約140名もの方が大集合。今年もたくさんのボランティアさんが参加していただき、お話に歌、ダンスに体遊びなど、盛りだくさんのプログラムとなりました。最後にはサンタさんも登場し、みんな大喜び!いっぱい歌って、笑って、踊って、心も体もポカポカになって帰りました♪ ご協力頂いた皆さん、いらして下さった皆さん、どうもありがとうございました!!



小平市子ども家庭支援センター通信

支援センターだより

2012.2発行 vol.88

日本で一番寒い大寒も過ぎ、間もなく立春、日照時間も延び、少しずつ暖かくなって欲しいと楽しみにしているのですが、皆様は如何お過ごしですか。

2月と言えば節分。子ども家庭支援センターの広場でも日本の伝統行事として、窓の外へ豆まきをしています。節分の季節になると思い出すのが、「泣いた赤鬼」のお話です。この話は浜田廣介の話でご存知の方も多と思います。



『山の中に、一人の赤鬼が住んでいました。赤鬼は人間たちとも仲良くしたいと考えて、自分の家の前に「心の優しい鬼のうちです。どなたでもおいで下さい。おいしいお菓子がございます。お茶も沸かしてございます。」と書いた立札を立てました。けれども、人間は疑って誰一人遊びに来ませんでした。

赤鬼は悲しみ、信用してもらえない事を悔しがりました。そこへ、友達の青鬼が訪ねてきました。青鬼はわけを聞いて、赤鬼のために考えてやりました。青鬼が人間の村へ出かけて大暴れをする。そこへ赤鬼が出てきて、青鬼をこらしめる。そうすれば人間たちにも、赤鬼がやさしい鬼だという事がわかるだろう、というのでした。しかしそれでは青鬼にすまない、としぶる赤鬼を青鬼は無理やり引っ張って、村へ出かけて行きました。計画は成功して、村の人たちは安心して赤鬼の所へ遊びに来るようになりました。毎日、毎日村から山へ、連れ立ってやってきました。こうして赤鬼には人間の友達が出来ました。赤鬼は、とても喜びました。

しかし、日がたつにつれて、気になる事がありました。それはあの日から訪ねて来なくなった青鬼の事でした。ある日、赤鬼は青鬼の家を訪ねてみました。青鬼の家は、戸がかたく閉まっていました。ふと気が付くと、戸の脇に張り紙がしてありました。それに、何か字が書かれていました。「赤鬼くん、人間たちと仲良くして、楽しく暮らして下さい。もし、ぼくがこのまま君と付き合っていると、君も悪い鬼だと思われるかもしれません。それでぼくは旅に出るけれども、いつまでも君を忘れません。さようなら、体を大事にして下さい。どこまでも君の友達、青鬼」赤鬼は、黙ってそれを読みました。二度も三度も読みました。戸に手をかけて顔を押し付け、しくしくと涙を流して泣きました。』



というお話です。この話を読む度に「やさしさ」とはなんだろうと考えさせられます。自分が淋しい思いをしても悪者になっても他の人の事を考える。なかなか出来る事ではないですね。皆が楽しみながら子育てが出来、子どもが健やかに育つ環境である事を願っています。

武井まさ子

